

地域とともに進める食育・地産地消の学校給食

第13回全国学校給食甲子園 船昌賞・キッコーマン食育特別賞受賞にあたって



主催：長谷学区支え合いの会・長谷中学校
共催：伊那市・伊那市教育委員会
（一財）都市農山漁村交流活性化機構
協力：（株）産直新聞社

※都市農山漁村交流活性化機構
全国の直売所・グリーンツーリズム・地産地消学校給食などのまとめ役を担う団体



入場
無料

日程

2019年 2月16日（土）

時間

13:00～15:30（無料）

15:40～16:40 交流会（会費1000円）

※交流会では長谷地域の方にご協力いただき郷土食をご用意します

会場

伊那市立長谷中学校ランチルーム

講師

地産地消コーディネーター

杉木悦子氏 毛賀澤明宏氏



講師
紹介

杉木悦子氏
学校栄養教諭としての長年の経験をもとに、
県内外で「地産地消」の向上を目指し講演・
アドバイス活動を行う

毛賀澤明宏氏
地域づくりに焦点を当てた新聞「産直新聞」などを
発行し、全国各地で人材育成やプロデュース・支援
を行う

シンポジウム内容

- ・杉木悦子栄養教諭の講演
- ・長谷中の取組み紹介
- ・給食甲子園結果報告
- ・パネルディスカッション 他

お問合せ・申込先：長野県伊那市立長谷中学校（担当：林 久美）

TEL

0265-98-2050

FAX

0265-98-3031

住所

〒396-0402
長野県伊那市長谷溝口1080

メール

hasechu@ina-ngn.ed.jp

申込〆切
2月6日

シンポジウム開催の主旨と背景

長谷中学校と長谷学校給食共同調理場は2018年12月8日・9日、東京都で開催された第13回全国学校給食甲子園（特定非営利活動法人21世紀構想研究会主催）決勝大会に全国12代表校の1校として出場しました（応募総数1701校）。その結果、生徒が地域住民とともに育てた地産野菜を使った学校給食の献立が、優秀賞に相当する「船昌賞」を、また、原真理子栄養教諭が行った「食育」の授業が最高賞の「キッコマン食育特別賞」を受賞することができました。

この間長谷地域では、農業従事者の高齢化と、獣害被害による地域農業の停滞を背景にして、長谷の学校給食に野菜を納入していた生産者団体（麦わら帽子の会）が解散し、地産食材を使った地産地消の給食の継続が危ぶまれています。そうした状況を克服するために、「中学生にできる地域おこし」をスローガンに中学生が地域の皆さんとともに、学校給食用の野菜や唐辛子の栽培に取り組んできました。ラー油「長谷の太陽」の製造・販売も始めました。それらの食材を活かした学校給食や食育の授業が、全国で高い評価を得たことは、今後の長谷中・長谷地域、何より長谷の子供達の大きな励みになることと思います。

こうした長谷学校給食共同調理場と長谷中学校の取り組みを皆さんに知っていただき、食育や学校給食が、地産地消の地域農業振興と密接な関係にあることを改めて理解していただくことを目指して、このシンポジウムを開催いたします。多くの保護者・地域の皆さん、また伊那市内外の学校給食に関心を持つ多くの皆さんの参加をお待ちしております。

内容

- 13:00 開会の挨拶 総合司会 林教頭
13:05 趣旨説明 高木校長先生
13:15 地産地消コーディネーター・都市農山漁村交流活性化機構挨拶
13:20 農水省挨拶
13:25 伊那市教育委員会挨拶 笠原千俊教育長
13:30 **第一部**
全国学校給食甲子園決勝大会の結果報告発表
原栄養教諭による食育授業
長谷中の取り組み紹介
14:10 休憩
14:20 **第二部**
記念講演「学校給食と食育・地産地消―山間部の学びと暮らしを守るために―」
地産地消コーディネーター・山形村立山形小学校栄養教諭杉木悦子先生の講演
14:50 **第三部**
パネルトーク「暮らしのなかの食」を学び取るために
パネリスト 松田泰俊さん（前伊那市教育委員長・常福寺住職）
原真理子栄養教諭（長谷中学校）
地元農家ベテラン 中山晶計さん（長谷高齢者クラブ代表）
地元農家若者 小松一輝さん（理学療法士・兼業農家）
コメンテーター 杉木悦子栄養教諭（山形小学校栄養教諭）
高木幸伸校長（長谷中学校）
コーディネーター 毛賀澤明宏さん（地産地消コーディネーター）
15:30 閉会
15:40～ 長谷学校給食交流会

申込〆切
2月6日

長谷中学校給食シンポジウム参加申込書

名前	メール
住所	
TEL	FAX
参加人数	交流会参加人数 (参加費1000円)
人	人

お申込はFAX・電話・メールにてお願いします。【FAX】0265-98-3031